躍動をかたちに　進化するまち　こだいら

平成22年（2010年）
5/5
第1221号

発行：小平市
編集：次世代育成部児童課
〒187−8701
小平市小川町二丁目1333番地
☎042（341）1211（代表）

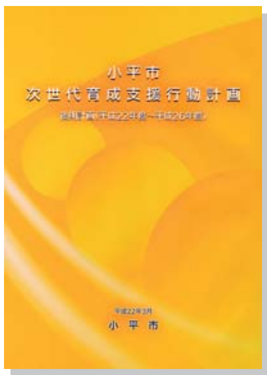
市報 こだいら

次世代育成支援 特集号

◇小平市ホームページ　http://www.city.kodaira.tokyo.jp　◇電子メール　info@city.kodaira.lg.jp

小平市次世代育成支援行動計画後期計画を策定

安心、いきいき、健やかな子育て・子育ち・親育ちができるまち　を目指して



策定の目的

少子高齢化や核家族化、近隣関係の薄れ、経済環境の悪化など、子どもや家庭を取り巻く環境が大きく変化する中、次代を担う子どもの健全で幸福な成長を促し、社会全体で子育て家庭を支援することが必要となっています。

市では、平成15年に制定された次世代育成支援対策推進法に基づき、平成17年３月に「小平市次世代育成支援行動計画」（前期計画）を策定し、家庭や地域、関係者・関係団体と連携しながら、子育て支援に関するさまざまな施策を推進してきました。この前期計画の成果と課題を踏まえ、今後５年間の小平市の子育て支援に関する総合的な計画として、後期計画を策定しました。

後期計画では、前期計画の基本理念と施策の体系を踏まえつつ、これを実現するための144の事業を掲げました。この事業の中から、引き続き課題となっている事柄や、昨今の社会情勢、小平市次世代育成支援に関するニーズ調査（平成20年11月実施）の結果から見えてきた新たな課題に対応するため、次の重点施策を選定しました。

重点施策 1

在宅で子育てをするすべての家庭に支援が届くように

０歳～２歳児の８割余りが在宅で過ごしています。これらの子育て家庭のすべてに支援の手が届くよう、取り組みます。

◇子ども広場など市内広場の拡充

現在３か所で開設している子ども広場を６か所に増設することで、利用しやすくします。また、子育てふれあい広場との調整を図ることで実施回数の増などを検討し、充実を図ります。

◇一時預かり事業の拡充

一時預かりは、働いていない保護者でも気軽に保育サービスを利用できるたいへんニーズの大きい事業です。現在２か所で実施していますが、今後５か所に増設します。

重点施策 2

子どもの健全な育成と自立を促すために

子どもが安全･安心に、楽しく過ごせる場所を提供し、健やかな成長と自立を助けるよう、取り組みます。

◇子ども広場の拡充

現在３か所で開設している子ども広場を６か所に増設します。

◇児童館の拡充（３館目の建設・指定管理者制度の導入）

３館目となる児童館を小川町一丁目に建設します。また、すべての児童館の運営に指定管理者制度を導入することによって、提供するメニュー内容の充実など、サービスの向上を図ります。

◇プレーパーク（※）の開設

プレーパークを開設します。

◇学校との連携による中学生・高校生と乳幼児のふれあい体験事業の充実

乳幼児とその保護者とのふれあい体験を、学校との連携の下、効果的に実施します。

※プレーパークとは、子どもたちの好奇心を大切にして、自分の責任で自由に遊ぶことを基本とした遊び場のことです。

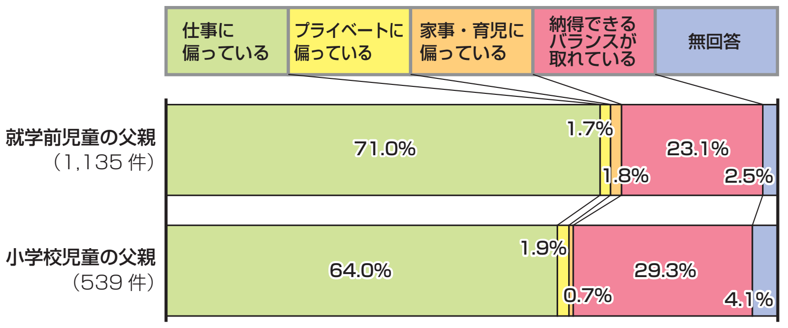
重点施策 3

ワーク・ライフ・バランスを実現するために

仕事をしている人が、安心して子どもを生み育てられるよう、取り組みます。

働いている、いないに関わらず、すべての家庭において父親の育児参加が進むよう、取り組みます。

図　ワーク・ライフ・バランスの達成感（父親）



※小平市次世代育成支援に関するニーズ調査の集計結果より。

◇保育サービスの充実

市立保育園については、老朽化した施設の建て替えにあわせ、そのあり方を検討するとともに、運営方法などを見直すことによって、定員の拡充とサービスの向上を図ります。

私立保育園については、施設の建て替えなどの時機を捉えて、運営への助言・支援を提供するとともに、定員の拡充とサービスの向上を要請します。

幼稚園については、幼児教育の重要性を念頭に置きつつ、保護者の保育ニーズへの対応を要請するとともに、認定こども園への移行促進を図ります。

学童クラブについては、開設時間の延長など、サービスの向上を図ります。

◇父親の育児参加促進

子ども家庭支援センターなどで提供する子育て講座や、市が主催する講演会、発行する刊行物などにおいて、父親の育児参加を促進するテーマを積極的に取り上げます。

子育て支援への理解、協力を得られるよう、市内事業主との連携に努めます。